



総合ハザードマップとは

笠岡市総合ハザードマップについて

笠岡市総合ハザードマップは、笠岡市で暮らす住民のみなさんの「日常からの備え」と「災害時の適切な判断・安全な避難行動」を支援するために作成したものです。

内容は、「笠岡市地域防災計画」に基づいて、「笠岡市で起こり得る災害」に対して、①どんな危険性があるのか、②危険な場所はどこか、③どこに逃げたら安全なのか、④どのような備えが必要なのかについてまとめています。

笠岡市で起こり得る災害

1 大雨・洪水災害等

(1) 大雨・洪水（外水はん濫）

計画規模（概ね100年に1回程度）及び想定最大規模（概ね1,000年に1回程度）などの大雨により、小田川において越水や、堤防が決壊して発生する洪水による災害

■計画規模降雨：小田川河川流域に48時間総雨量225mの雨が降った場合

■想定最大規模降雨：小田川河川流域に48時間総雨量888mの雨が降った場合

(2) 内水はん濫

雨の量が排水施設の能力を超えたり、河川などの排水先の水位が高くなったときに雨水を排水できなくなり、住宅地や道路等が浸水する現象

2 土砂災害

集中豪雨・台風等により発生する土石流、急傾斜地の崩壊、地すべりといった土砂災害

3 地震・津波災害

(1) 地震災害

南海トラフ巨大地震（南海トラフ沿いで発生するあらゆる可能性を考慮した最大クラスの地震）とそれに伴い発生する揺れと液状化現象

■笠岡市では、最大震度6強の揺れが発生するおそれがあります。
■笠岡市内の建物被害は、揺れによる全壊が最大57棟、液状化による全壊が最大392棟と想定されています。

(2) 津波災害

南海トラフ巨大地震による津波が悪条件下で発生した場合

■鋼管町付近で、最大波高3.2mの津波が発生するおそれがあります。

■笠岡市内では、津波により最大で1,492棟の建物が全壊すると想定されています。

過去の災害

平成30年7月豪雨災害

平成30年7月5日から8日にかけて、西日本を中心とした記録的な大雨となり、近年経験のない大災害が発生しました。

笠岡市では、7月5日8時20分から7月7日16時50分の間に累計雨量363mm（笠岡観測点）を観測しました。特に、北部地域の尾坂川の決壊や小田川の越水などにより、北川地区に床上浸水等の被害が集中しました。

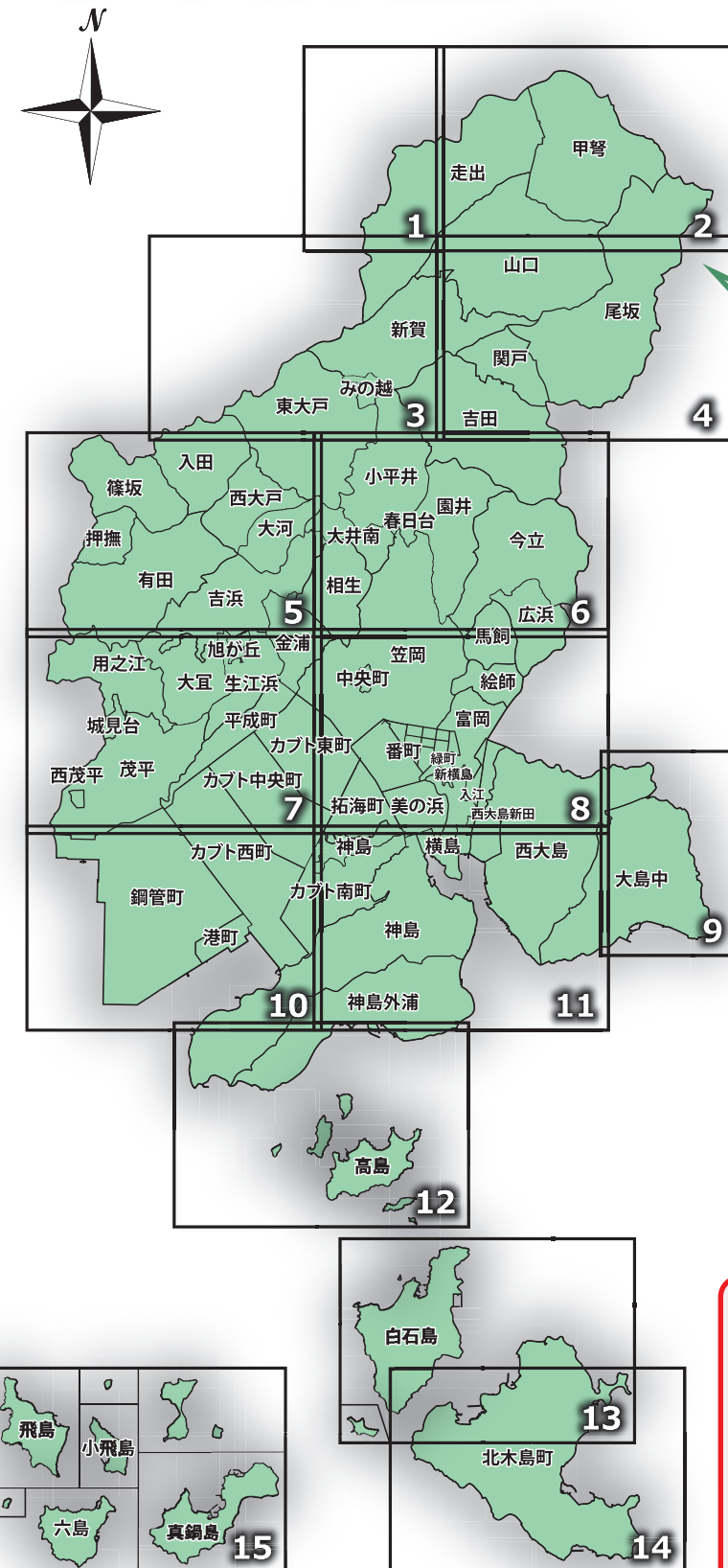


▲北川地区の様子



▲ボランティア活動の様子

ハザードマップ索引図



目次

災害情報の種類	P 3
情報の伝達方法	P 4
大雨・洪水災害	P 7
土砂災害	P 9
津波災害	P10
指定避難所等一覧	P11

住まいの周辺を確認しよう！

ハザードマップの見方①	P14
ハザードマップ 1	P14
ハザードマップ 2	P15
ハザードマップの見方②	P17
ハザードマップ 3	P17
ハザードマップ 4	P19
ハザードマップ 5	P21
ハザードマップ 6	P23
ハザードマップ 7	P25
ハザードマップ 8	P27
浸水想定および土砂災害警戒区域図について	P29
ハザードマップ 9	P30
ハザードマップ 10	P31
ハザードマップ 11	P33
ハザードマップ 12	P35
ハザードマップ 13	P37
ハザードマップ 14	P39
ハザードマップ 15	P41
想定最大規模降雨による洪水災害	P43
内水はん濫危険箇所	P47
地震災害	P49

防災メモ P51

※このハザードマップは、危険な区域に含まれていない場所の安全を保障するものではありません。危険な区域に含まれていない場所においても、十分に災害に注意し、災害が発生した場合、若しくは発生する危険性がある場合は、災害情報の収集に努め、ご自身の判断で適切な避難行動を心がけてください。